

【質問4】中学校・公募応募教員

※ 職層及び年齢は、赴任時のものです。また、各職層の養護教諭を含みます。

町名	職層	性別	年齢	【質問】 島しょ公募に応募した理由・目的は、どんなことでしたか。	【質問】 実際に赴任して、その目的は達成できましたか。
大島町	教諭	男	30代	<ul style="list-style-type: none"> 一人一人の生徒との距離が近い教育現場に憧れて。 教科柄、じっくりと授業研究を都内では行えないため。 島民とのフレンドリーな付き合い 	
大島町	主任	男	30代	<p>自然環境に恵まれた環境で、教育活動を行いたいと思ったから。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 実践した教育活動や教員の指導力について、結果が出やすく、やりがいにつながる。 教員住宅には同世代の先生方も多く、子育てをするには良い環境だと思う。 自然環境が豊かで、釣りやダイビング、サーフィンなどマリレジャーがたくさんある。
大島町	教諭	男	20代	<ul style="list-style-type: none"> 少人数学級を活かした授業展開を見つけ、指導力を向上させるため。 家族との時間を増やすため。 	<ul style="list-style-type: none"> 部活動指導や学校行事、町行事の指導に追われ、教材研究の時間を満足に確保できず、達成できているとは言えない。 部活動や担任業務などで平日も夜の7時過ぎに学校を出ることが多く、土曜日も部活指導で、あまり家族との時間が増えた実感はない。
大島町	主任	男	40代	<p>東京に火山があるならば、教科の研究のために1度赴任してみたいと思い、応募しました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 現在は、火山だけでなく、海底の地形や生態系にも興味が出てきました。自分の興味関心が広がっていいと感じています。 大島は東京に近いこともあり、ほとんど不都合な部分を感じません。ただし車は必須です。1年目は免許を持っていなかったため、買い物等で不便を感じました。 地域の行事は、色々と参加させてもらっています。行事などを通じ、地域や保護者との近さを感じます。
利島村	教諭	男	20代	<ul style="list-style-type: none"> 15歳での「自立・自律」に興味を抱いたため。 少人数における教材研究を深く行いたかったため。 	<ul style="list-style-type: none"> 育児に参加する時間が確保できると考えたため。
新島村	教諭	女	20代	<ul style="list-style-type: none"> ①少人数ならではの教育活動を行いたい。 ②地域の方との交流を図りたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ①素直で真面目な生徒が多いので、宿題などにもきちんと取り組む生徒が多く、スムーズな教育活動を行うことができる。また、少人数で、小さい頃から共に生活してきているので、グループでの活動なども積極的に行うことができる。数学ではさらに習熟度別に授業を行っているため、机間指導などで細かく指導することができる。 ②長い期間島で生活していると顔見知りの方も多くなり、あらゆる場所で声をかけていただけるようになる。その中で、休日にボディボードをしたり、船を出していただいて釣りに出かけたたりなど、島ならではのレジャーを楽しむことができる。また、赴任してみると、同世代の教員が多いため、休日などはキャンプや星空観察などを一緒に楽しむことができるのも島ならではの利点だと思う。

【質問4】中学校・公募応募教員

※ 職層及び年齢は、赴任時のものです。また、各職層の養護教諭を含みます。

町名	職層	性別	年齢	【質問】 島しょ公募に応募した理由・目的は、どんなことでしたか。	【質問】 実際に赴任して、その目的は達成できましたか。
神津島村	主任	女	30代	<p>・子供自身が村で受けた教育を誇りに感じ、自分の人生を切り開いていけるようなたくましい力を身に付けてほしいので、養護として、「健康な心身が全ての学びを支える」という姿勢で細やかに仕事がしたい、と思っていました。</p> <p>・すぐそこに大自然があり、都会では経験できない遊びや生活は子育て世代にはとても魅力的な条件だと思っていました。少人数で教育環境もよいと思っていました。</p>	<p>・1年過ぎて、自分も村の生活に慣れ、子供の健康課題なども見えてきて、ぶれることなく努めたいなと思って取り組んでいます。</p> <p>・住職接近で子供と過ごす時間も増え、一緒に楽しめる物事も増えました。</p>
	教諭	女	40代	<p>初任校が島であったことで、もう一度、島での教育に力を注ぎたい。中学校卒業後、島を出る生徒に、家庭科を通じて生きる力をつけさせたい。今までの経験を生かし、実技教科で個別に丁寧な指導をしたい。</p>	<p>・赴任後1ヶ月半ではあるが、できることから実践できている。</p> <p>・通勤時間も短く、退勤時間は格段に早くなったことで、日々の生活や余暇時間を楽しむことができる。</p> <p>・平日は、朝の散歩をし、汗を流してから朝食を作り、ゆっくりいただいてから出勤できる。</p> <p>・平日夜には、太鼓、週末は習字を行うことができる。週末、生徒会のボランティア活動や地域のお手伝い等あるが、自分の時間も持てる。</p>